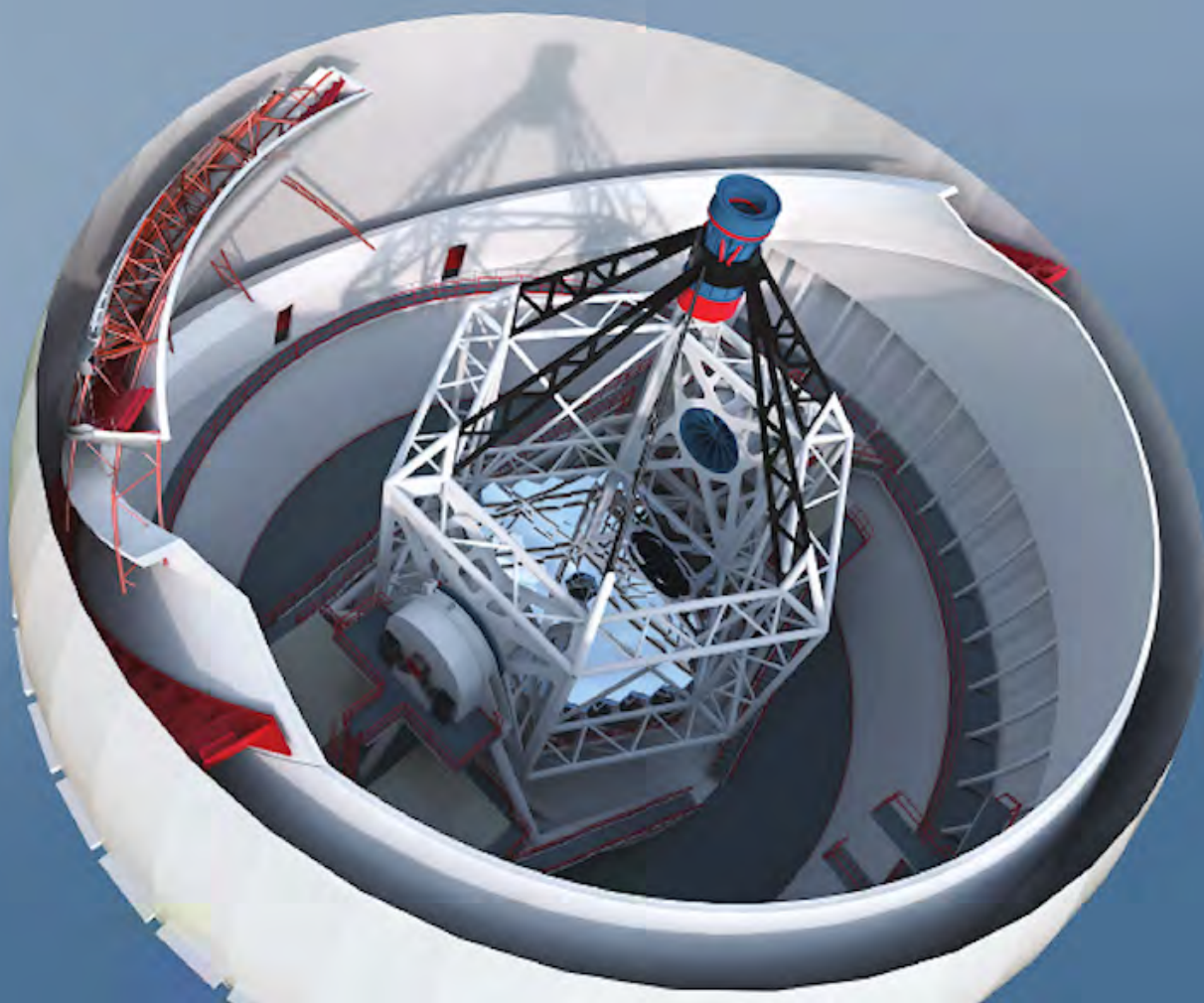




3DEXPERIENCE®

新機能

SOLIDWORKS PDM 2019



目次

著作権に関する注意書き	3
1 SOLIDWORKS PDM	6
SOLIDWORKS PDM Web2 のデフォルトライセンス タイプの変更	7
通知条件 ★	7
条件付き通知の定義	7
通知条件 (Conditional Notification) ダイアログ ボックス	8
検索カードのデフォルトの検索変数	11
図面の新しいシート用のデフォルト値の生成 ★	12
SOLIDWORKS PDM タスク パネルでの履歴の表示	12
履歴コメントの編集 ★	13
ファイル ショートカット メニュー ★	14
データカードの編集で自動更新を取得	14
グラフィックス デバイス インタフェースの強化	14
Web API サーバーの統合インストール	15
混合認証のサポート	15
混合ログインでのユーザーの認証	15
シリアル番号でのファイルの命名	16
参照ファイルなしで親ファイルを開く	16
複数の SOLIDWORKS ファイルを開く	17
パフォーマンスの向上 - SOLIDWORKS PDM	17
応答性を高めた Web2 の再設計	17
ステータス変更時の参照図面ノードの選択	18
SOLIDWORKS Inspection のインテグレーション	19
デザイン ライブラリの SOLIDWORKS PDM サポート	20
溶接カット リストのコンフィギュレーションのサポート	20
変換タスクでの DXF/DWG ファイル形式のサポート ★	20
eDrawings 機能のサポート	22
ファイル構造のアップロードとチェックイン、参照付きのダウンロード	23
ユーザーのコメント ★	23

著作権に関する注意書き

© 1995-2018, Dassault Systemes SolidWorks Corporation, a Dassault Systèmes SE company, 175 Wyman Street, Waltham, Mass. 02451 USA. All Rights Reserved.

本ドキュメントに記載されている情報とソフトウェアは予告なく変更されることがあり、Dassault Systemes SolidWorks Corporation (DS SolidWorks) の保証事項ではありません。

この製品を DS SolidWorks の書面上の許可なしにその目的、方法に関わりなく複製、頒布はできません。

本ドキュメントに記載されているソフトウェアは使用許諾に基づくものであり、当該使用許諾の条件の下でのみ使用あるいは複製が許可されています。DS SolidWorks がソフトウェアとドキュメントに関して付与するすべての保証は、ライセンス契約書に規定されており、本ドキュメントまたはその内容に記載、あるいは黙示されているいかなる事項もそれらの保証、その変更あるいは補完を意味するものではありません。

特許

SOLIDWORKS® 3D mechanical CAD and/or Simulation software is protected by U.S. Patents 6,611,725; 6,844,877; 6,898,560; 6,906,712; 7,079,990; 7,477,262; 7,558,705; 7,571,079; 7,590,497; 7,643,027; 7,672,822; 7,688,318; 7,694,238; 7,853,940; 8,305,376; 8,581,902; 8,817,028; 8,910,078; 9,129,083; 9,153,072; 9,262,863; 9,465,894; 9,646,412; 9,870,436; 10,055,083; 10,073,600 and foreign patents, (e.g., EP 1,116,190 B1 and JP 3,517,643).

eDrawings® software is protected by U.S. Patent 7,184,044; U.S. Patent 7,502,027; and Canadian Patent 2,318,706.

U.S. and foreign patents pending.

SOLIDWORKS 製品とサービスの商標と製品名

SOLIDWORKS、3D ContentCentral、3D PartStream.NET、eDrawings、eDrawings のロゴは DS SOLIDWORKS の登録商標です。FeatureManager DS SOLIDWORKS が共同所有する登録商標です。

CircuitWorks、FloXpress、PhotoView 360、TolAnalyst は DS SolidWorks の商標です。

FeatureWorks は、HCL Technologies Ltd. の登録商標です。

SOLIDWORKS 2019、SOLIDWORKS Standard、SOLIDWORKS Professional、SOLIDWORKS Premium、SOLIDWORKS PDM Professional、SOLIDWORKS PDM Standard、SOLIDWORKS Simulation Standard、SOLIDWORKS Simulation Professional、SOLIDWORKS Simulation Premium、SOLIDWORKS Flow Simulation、SOLIDWORKS CAM、SOLIDWORKS Manage、eDrawings Viewer、eDrawings Professional、SOLIDWORKS Sustainability、SOLIDWORKS Plastics、SOLIDWORKS Electrical Schematic Standard、SOLIDWORKS Electrical Schematic Professional、SOLIDWORKS Electrical 3D、SOLIDWORKS Electrical Professional、CircuitWorks、SOLIDWORKS Composer、SOLIDWORKS Inspection、SOLIDWORKS MBD、SOLIDWORKS PCB powered by Altium、SOLIDWORKS PCB Connector powered by Altium、SOLIDWORKS Visualize は、DS SolidWorks の製品名です。

その他、記載されているブランド名、製品名は各社の商標及び登録商標です。

COMMERCIAL COMPUTER SOFTWARE - PROPRIETARY

本ソフトウェアは、48 C.F.R. 2.101 (OCT 1995) に定義されている「商用品」であり、48 C.F.R. 12.212 (SEPT 1995) で使用されている「商用コンピュータ ソフトウェア」および「商用コンピュータ ソフトウェア ドキュメンテーション」で構成されます。本ソフトウェアは、(a) 48 C.F.R. 12.212 に規定された政策に従って、民間機関による、またはそれに代わる取得のため、あるいは (b) 48 C.F.R. 227.7202-1 (JUN 1995) および 227.7202-4 (JUN 1995) に既定された政策に従って、国防総省の一部門による、またはそれに代わる取得のために、米国政府に対して提供されます。

米国政府機関から、上記の規定を超える権利と共にソフトウェアを提供するように要求された場合は、DS SolidWorks にその要求の範囲を通知するものとします。DS SolidWorks は、5 営業日以内に、独自の判断により、そのような要求を受け入れるか拒絶するかを決定します。Contractor/Manufacturer: Dassault Systemes SolidWorks Corporation, 175 Wyman Street, Waltham, Massachusetts 02451 USA.

SOLIDWORKS Standard、Premium、Professional、Education 製品における著作権

Portions of this software © 1986-2018 Siemens Product Lifecycle Management Software Inc. All rights reserved.

この製品には、Siemens Industry Software Limited が所有する、次のソフトウェアが含まれています。

D-Cubed® 2D DCM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

D-Cubed® 3D DCM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

D-Cubed® PGM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

D-Cubed® CDM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

D-Cubed® AEM © 2018. Siemens Industry Software Limited. All Rights Reserved.

Portions of this software © 1998-2018 HCL Technologies Ltd.

本ソフトウェアの一部は NVIDIA 2006-2010 による PhysX™ が含まれています。

Portions of this software © 2001-2018 Luxology, LLC. All rights reserved, patents pending.

Portions of this software © 2007-2018 DriveWorks Ltd.

(c) 2011, Microsoft Corporation. All rights reserved.

Adobe® PDF Library テクノロジーを含みます。

Copyright 1984-2016 Adobe Systems Inc. and its licensors. All rights reserved. Protected by U.S. Patents 5,929,866; 5,943,063; 6,289,364; 6,563,502; 6,639,593; 6,754,382; Patents Pending.

Adobe、Adobeのロゴ、Acrobat、Adobe PDFのロゴ、Distiller、Reader は米国およびその他の国において Adobe Systems Inc. の登録商標または商標です。

DS SolidWorks の詳細な著作権情報については、ヘルプ (Help) > **SOLIDWORKS** について (About **SOLIDWORKS**) を参照してください。

SOLIDWORKS Simulation 製品における著作権

Portions of this software (c) 2008, Solversoft Corporation.

PCGLSS © 1992-2017 Computational Applications and System Integration, Inc. All rights reserved.

SOLIDWORKS PDM Professional 製品における著作権

Outside In® Viewer Technology, © 1992-2012 Oracle

(c) 2011, Microsoft Corporation. All rights reserved.

eDrawings 製品における著作権

Portions of this software © 2000-2014 Tech Soft 3D.

Portions of this software © 1995-1998 Jean-Loup Gailly and Mark Adler.

Portions of this software © 1998-2001 3Dconnexion.

Portions of this software © 1998-2017 Open Design Alliance. All rights reserved.

eDrawings® for Windows® ソフトウェアは部分的に Independent JPEG Group の研究に依存しています。

Portions of eDrawings® for iPad® copyright © 1996-1999 Silicon Graphics Systems, Inc.

Portions of eDrawings® for iPad® copyright © 2003 – 2005 Apple Computer Inc.

SOLIDWORKS PCB 製品における著作権

Portions of this software © 2017-2018 Altium Limited.

SOLIDWORKS Visualize 製品における著作権表示

NVIDIA Corporation のライセンスに基づいて提供される NVIDIA GameWorks™ テクノロジー。
Copyright (C) 2002-2015 NVIDIA Corporation. All rights reserved.

1

SOLIDWORKS PDM

この章では以下の項目を含みます:

- **SOLIDWORKS PDM Web2 のデフォルトライセンス タイプの変更**
- 通知条件
- 検索カードのデフォルトの検索変数
- 図面の新しいシート用のデフォルト値の生成
- **SOLIDWORKS PDM タスク パネルでの履歴の表示**
- 履歴コメントの編集
- ファイル ショートカット メニュー
- データカードの編集で自動更新を取得
- グラフィックス デバイス インタフェースの強化
- **Web API サーバーの統合インストール**
- 混合認証のサポート
- シリアル番号でのファイルの命名
- 参照ファイルなしで親ファイルを開く
- 複数の **SOLIDWORKS** ファイルを開く
- パフォーマンスの向上 - **SOLIDWORKS PDM**
- 応答性を高めた **Web2** の再設計
- ステータス変更時の参照図面ノードの選択
- **SOLIDWORKS Inspection** のインテグレーション
- デザイン ライブラリの **SOLIDWORKS PDM** サポート
- 溶接カット リストのコンフィギュレーションのサポート
- 変換タスクでの **DXF/DWG** ファイル形式のサポート
- **eDrawings** 機能のサポート
- ファイル構造のアップロードとチェックイン、参照付きのダウンロード
- ユーザーのコメント

SOLIDWORKS® PDM には次の 2 つのバージョンがあります。SOLIDWORKS PDM Standard は、SOLIDWORKS Professional および SOLIDWORKS Premium に含まれ、SOLIDWORKS ユーザー以外は別途購入したライセンスとして利用できます。これは、少人数ユーザー向けの標準データ管理機能を備えています。

SOLIDWORKS PDM Professional は、少人数から大人数のユーザーに対応するフル機能のデータ管理ソリューションです。本製品は別途ご購入することによってご利用いただけます。

SOLIDWORKS PDM Web2 のデフォルトライセンス タイプの変更

SOLIDWORKS PDM Web2 で、*AllowLicenseHange* が *True* に設定されている場合、**Web** または**ビューア (Viewer)** ライセンスのいずれかを使用するようにライセンス タイプを変更できます。*False* に設定した場合、*DefaultLicenseType* 設定で指定されたライセンス タイプだけを使用できます。

DefaultLicenseType は、Web2 のログイン ページで、すべてのユーザーのデフォルト ライセンス タイプを設定します。ライセンス タイプは、**Web** または**ビューア (Viewer)** として設定できます。

通知条件

SOLIDWORKS PDM Professional では、トランジションの通知条件を定義できます。

通知条件追加 (Add Conditional Notification) オプションでは、次のことが行えます。

- ユーザーとグループにトランジション通知を送信するための、事前定義された条件を追加します。
- データ カード変数の値に基づき、ユーザーに通知を動的に送信します。

条件付き通知の定義

通知条件を定義するには:

1. アドミニストレーション ツールでワークフロー トランジションをクリックします。
2. トランジションのプロパティ (Properties) ダイアログ ボックスの通知 (Notifications) タブで、**通知条件を追加 (Add Conditional Notification)** をクリックします。
3. 通知条件 (Conditional Notification) ダイアログ ボックスの受信先 (Recipients) タブで:
 - a) **ユーザー/グループの追加**をクリックします。
 - b) ユーザー/グループの追加 (Add Users/Groups) ダイアログ ボックスで、通知を受信するユーザーまたはグループを選択し、**OK**をクリックします。
 - c) **変数の追加 (Add Variable)** をクリックして、通知の受信者としてその値を使用する変数を選択します。
 - d) 変数の追加 (Add Variable) ダイアログ ボックスで変数を選択し、**OK**をクリックします。

4. 通知条件 (Notification Conditions) タブで:
 - a) **<条件を追加するにはここをクリック (Click here to add a condition) >**を選択します。
 - b) 条件リストで変数または条件を選択します。
 - c) **比較**のリストを展開し、比較演算子を選択します。
演算子のリストは、前のステップで選択した内容により異なります。
 - d) **値 (Value)** の下に値を入力し、変数値と比較します。

ユーザー (User) またはグループ (Group) を変数 (Variable) として選択した場合は、リストから値を選択します。

 - e) 変数を条件として選択した場合は、データカード コンフィギュレーションを指定して変数を検索します。
すべてのコンフィギュレーションを検索したい場合は、**コンフィギュレーション (Configuration)** を空白のままにします。
5. **OK** を 2 回クリックし、ワークフローを保存します。

通知条件 (Conditional Notification) ダイアログ ボックス

通知条件 (Conditional Notification) ダイアログ ボックスを使用すると、ワークフロー トランジションに関する条件付き通知を定義できます。

通知条件 (Conditional Notification) ダイアログ ボックスを表示するには:

1. トランジションのプロパティ (Properties) ダイアログ ボックスを開きます。
2. 通知 (Notifications) タブで**通知条件を追加 (Add Conditional Notification)** をクリックします。

[通知プロパティ] タブ

通知プロパティ (Notification Properties) タブには、トランジションのステータスのフィールドが表示されます。これらのフィールドは読み取り専用です。

元のステータス (Source state)	フォルダの初期ステータスが表示されます。
変更後のステータス (Destination state)	トランジション後のフォルダの最終ステータスが表示されます。
ステータス変更 (State change)	ステータス変更のトリガーに使用されるトランジションが表示されません。

[受信先] タブ

受信先（Recipients）タブを使用して、条件が満たされたときに通知を受信するユーザーとグループを定義します。

ユーザー/グループの追加 (Add Users/Groups)	ユーザー/グループの追加（Add Users/Groups）ダイアログ ボックスを開きます。通知を受信するユーザーとグループを選択できます。
--	--

変数の追加	変数の追加（Add Variable）ダイアログ ボックスを開きます。変数を選択し、通知の受信先としてその値を使用することができます。
--------------	---

選択した変数の値は、データ カードから取得され、データベース ボルト内のフル ネーム、ログイン名、またはグループ名の値と比較されます。

リストにフィルターを適用すると、値にフィルター文字列が含まれる変数のみを追加できます。

削除	選択した受信先を削除します。
-----------	----------------

通知条件（Notification Conditions）タブ

通知条件（Notification Conditions）タブを使用して、自動通知を受信するユーザーの条件を作成します。

通知条件は、デフォルトでは、ボルト ルートおよびすべてのフォルダに適用されます。特定のファイル タイプまたはファイル名用に通知条件を定義するには、ファイル パスに基づく条件を定義する必要があります。

変数

条件と変数をリストします。変数、または以下のいずれかを選択できます：

OR

OR コンテナを作成します。デフォルトでは、すべての条件が真でなければなりません (AND)。OR コンテナを使用すると、グループ化した条件のいずれか1つの条件が真であれば一致していると判断されます。

カテゴリ (Category)

ファイルのカテゴリを**値 (Value)** と比較します。

ファイルパス (Filepath)

ファイル名、拡張子、またはパスを入力した**値 (Value)** と比較します。

ファイルパスを指定すると、フォルダパスの「*.*」が、入力の**値 (Value)** と置き換えられます。

オブジェクト タイプ (Object type)

オブジェクト タイプ (**BOM**、**ファイル (File)**、または**アイテム (Item)**) を**値 (Value)** と比較します。

リビジョン (Revision)

ファイルのリビジョン番号を**値 (Value)** と比較します。

ユーザー (User)

トランジションを実行するユーザーの名前を**値 (Value)** と比較します。

Group

トランジションを実行するユーザーのグループを**値 (Value)** と比較します。

削除

選択した条件または変数を削除します。

比較 (Comparison)

条件ごとに比較演算子をリストします。

リストを展開して、テキスト、数値、または日付の比較演算子を選択します。

例:

	テキストに含まれない		日付は次と等しくない
	数値は次より小さい		次と等しいまたは等しくない

使用できる比較演算子は、選択した変数のタイプによって異なります。

値 (Value)

変数の値と比較する値を入力できます。

コンフィギュレーション

値を検索するためにデータ カードのコンフィギュレーション (Configuration) タブを指定します。

このオプションは、条件が変数である場合にのみ使用できます。

すべてのコンフィギュレーションを検索するには、**コンフィギュレーション (Configuration)** を空白のままにします。

検索カードのデフォルトの検索変数

ログインしたユーザー名を検索カード上のデフォルト値として定義できます。

これまでは、ログインしたユーザー名は、検索のお気に入りを使用してデフォルト値として定義する必要がありました。

検索カードでのデフォルト値の設定

検索カードでデフォルト値を設定して、デフォルトの検索変数を定義することができます。

検索カードでデフォルト値を設定するには:

1. アドミニストレーション ツールで、**カード (Cards) > 検索カード (Search Cards)** を展開し、検索カードをダブルクリックします。
2. カード プロパティ (Card Properties) で**デフォルト値 (Default Values)** をクリックします。

3. ダイアログ ボックスで、変数を選択し、値を入力します。

次のユーザーがチェックアウト (**Checked Out by User**)、ラベル - ユーザー毎 (**Label - by User**)、バージョンを次のユーザーが作成 (**Version Created by User**)、ワークフロー - ユーザーによるトランジション (**Workflow - Transitions by User**)、作成者 (**Author**) などの変数を選択する場合、値は %user% と入力します。

4. **OK** をクリックし、カード エディタに変更を保存します。

ファイル エクスプローラで、検索ツールを実行すると、ログインしているユーザーの名前がデフォルトの検索値として表示されます。たとえば、ステップ 3 で**次のユーザーがチェックアウト (Checked Out by User)**を選択した場合、検索ツールのチェックイン (Check in) / チェックアウト (Check Out) タブにログインしているユーザーの名前が表示されます。

アドミニストレーション ツールの設定 - 管理者 (Settings - Admin) ダイアログ ボックスで**ユーザーのフルネームを表示 (Show full user names)**を選択していて、完全な名前を使用できる場合は、検索ツールに表示されます。

図面の新しいシート用のデフォルト値の生成

チェックアウトした SOLIDWORKS 図面ファイルに新しいシートを追加すると、SOLIDWORKS PDM では、新しく追加したシートのデフォルト値が生成され、図面データ カードの値が更新されます。

以前は、チェックインの前に図面データ カードで必須の変数の値を手動により更新する必要がありました。

新しいシートを追加する前に、SOLIDWORKS PDM アドインを有効にする必要があります。

アドミニストレーション ツールの SOLIDWORKS 図面カードで、**全てのコンフィギュレーションを更新 (Updates all configurations)**を選択すると、\$PRPSHEET タイプの変数マッピングを使用する変数が、すべてのシートのタブで更新されます。以前は、@コンフィギュレーション タブの値のみが自動的に更新され、アクティブなコンフィギュレーション タブは手動で更新する必要がありました。

SOLIDWORKS PDM タスク パネルでの履歴の表示

SOLIDWORKS PDM タスク パネルで、ツールバーに**履歴 (History)**が表示されます。履歴 (History) ダイアログ ボックスでは以下を行うことができます：

- バージョンを**保存 (Save)**してファイル名を指定する。
- ラベルを**更新 (Update)** (名前変更または削除) して、ステータスの変更およびチェックインのコメントを修正する。
- 選択したファイルの履歴を**印刷 (Print)**する。

履歴コメントの編集

管理権限の、自分の履歴コメントを更新できます (**Can update own History comments**) が有効な場合にのみ、ユーザー自身の履歴コメントを編集できます。

以前は、権限なしで自分の履歴コメントを編集できました。

ラベルの設定/削除アクセス権

管理者権限のラベルを設定/削除することができます (**Can set/delete labels**) は 2 つの権限に分かれています。

権限	説明
ラベルを設定することができます (Can set labels)	ユーザーはラベルを追加できます。
ラベルを削除することができます (Can delete labels)	ユーザーはすべてのユーザーのラベルを削除できます。

- 他のユーザーのラベルは編集できません。
- ユーザーの履歴を読み取り専用にするには、管理者が履歴コメントを更新できます (**Can update history comments**) とラベルを削除することができます (**Can delete labels**) を解除する必要があります。

ラベルの削除

管理権限のラベルを削除することができます (**Can delete labels**) でラベルの削除が可能です。

ラベルを削除するには:

1. ファイルまたはフォルダを選択して、**表示 (Display) > 履歴 (History)** を選択するか、**履歴 (History)** (Microsoft® Windows® エクスプローラ ツールバー) を選択します。
2. ダイアログ ボックスの**イベント (Event)** で削除するラベルを選択します。
3. **ラベルの削除 (Delete Labels)** をクリックします。
4. 削除を確認するメッセージの**はい (Yes)** をクリックします。

ファイル ショートカット メニュー

使用先 (Where Used)、参照先 (Contains)、BOM (Bill of Materials) タブにファイル ショートカット メニューが表示されます。

親と子の参照、複数の参照、またはボルト内の異なるフォルダに分散している参照のファイル操作が実行しやすくなりました。

以前は、このメニューは Windows エクスプローラのファイル ビューでのみ使用できました。これらのタブでのファイル操作は、ファイルを手動で参照するか検索する必要がありました。

参照先 (Contains)、使用先 (Where Used)、BOM (Bill Of Materials) タブのファイル ショートカット メニューは次の場所で使用できます。

- ファイル エクスプローラ
- 完全検索と検索ツール
- SOLIDWORKS PDM ファイル ビューア インターフェース
- これらのタブへアクセスできる開く (Open) と保存 (Save) ダイアログ ボックス。

ファイル操作を実行するには、必要な権限を保持していなければなりません。

ファイル ショートカット メニューは次のとおりです。

- マスター BOM、CAD BOM、チェックイン済みのカスタム BOM に使用できます。
- チェックアウトされたカスタム BOM、溶接 BOM、カット リストには使用できません。

データカードの編集で自動更新を取得

SOLIDWORKS PDM Office アドイン オプションのリンクされたフィールドを更新 (**Update Linked Fields**) では、データカードまたは遷移を介して値 (ユーザー定義プロパティ) を更新すると、リンクされたフィールドが自動的に更新されます。

グラフィックス デバイス インタフェースの強化

SOLIDWORKS PDM の動作で安定性が増します。

Graphics Device Interface (GDI) リソース モニタは、ファイル エクスプローラ、ファイル ビューア、検索プロセス、アイテム エクスプローラ、カード編集のパフォーマンスを監視します。上記のいずれかのプロセスで使用可能な GDI リソースが少ない、または非常に少ない場合は、警告メッセージが表示されます。

定義済みのしきい値を変更するには、レジストリ設定、
HKEY_CURRENT_USER\Software\Solidworks\Applications\PDMWorks
Enterprise\Vaults_Global\Settings で、次の変数の値を変更します。

- *GDI_Warning_Threshold*
- *GDI_Danger_Threshold*

- *MonitorGDIFrequency(sec)*

Web API サーバーの統合インストール

EXALEAD® OnePart ユーザーは、SOLIDWORKS PDM Professional サーバーのインストール時に、Web API サーバーをインストールおよび設定できます。

以前は、Web API サーバー コンポーネントを別途インストールする必要がありました。

EXALEAD OnePart は、Web API を使用して SOLIDWORKS PDM データにアクセスします。統合インストールでは、次のことができます。

- Web API サーバーをインストールします
- Microsoft Internet Information Services (IIS) を設定します
- ボルトを追加して設定します

Web API サーバーは、他の SOLIDWORKS PDM サーバー コンポーネントとともに同じコンピュータにインストールすることも、別のコンピュータに個別にインストールすることもできます。

混合認証のサポート

ボルトの管理者は、ユーザーが Microsoft Windows ユーザーおよび SOLIDWORKS PDM ユーザーとしてログインできるようにするオプションを設定できます。以前は、管理者がすべてのボルト ユーザー用に単一のログイン タイプを選択する必要がありました。

この機能により、ボルトごとにログイン タイプを混在させることができます。管理者は、Microsoft Windows ドメインに存在しないが、ボルトに接続する必要があるユーザーを設定できます。

混合ログインでのユーザーの認証

混合ログインでユーザーを認証するには:

1. スタート (Start) > すべてのプログラム (All Programs) > **SOLIDWORKS PDM > アrchive サーバー コンフィギュレーション (Archive Server Configuration)** をクリックします。
2. **デフォルト設定 (Default Settings)**  をクリックします。
3. **Windows ログイン (Windows login)** を選択します。
4. **SOLIDWORKS PDM ログインを許可 (Allow SOLIDWORKS PDM login)** を選択します。

5. **適用** をクリックし、**OK** をクリックします。

新規ユーザーの追加で、アドミニストレーション ツールのユーザーを追加（Add Users）ダイアログ ボックスで次のオプションを使用できます。

- 新しいオプション**新規 SOLIDWORKS PDM ユーザー（New SOLIDWORKS PDM User）**は、SOLIDWORKS PDM ユーザーを追加します。
- 名前が変更されたオプション**新規 Windows ユーザー（New Windows User）**は、Microsoft Windows ユーザーを追加します。
- 名前が変更されたオプション**Windows ユーザーをリスト（List Windows Users）**は、Microsoft Windows ユーザーをリストします。

シリアル番号でのファイルの命名

SOLIDWORKS PDM アドイン オプションでは、シリアル番号を使用して、新しい内部または仮想構成部品、または溶接部品に名前を付けることができます。

シリアル番号でファイルを命名するには:

1. SOLIDWORKS を起動します。
2. ツール（Tools） > **SOLIDWORKS PDM** > オプション（Options）をクリックします。
3. サーバー（Server）タブで、シリアル番号を使用して新規ファイルを自動的に命名する（**Automatically name new files with serial number**）および名前を付けて保存するときにシリアル番号を使用して自動的に命名する（**Automatically name files on save as with serial number**）を選択します。

参照ファイルなしで親ファイルを開く

親の非 CAD ファイルを開いている間に、最新バージョンのユーザー定義ツリーまたは大規模な参照ツリーを開くことを選択するオプションがあります。

参照ファイルなしで親ファイルを開くには:

1. 管理ツールで**ファイルの種類（File Types）**を展開し、ファイルの種類をダブルクリックします。
2. ファイル タイプ プロパティ（File Type Properties）ダイアログ ボックスで、**ファイルを表示コマンドでは参照ファイルは不要（View file command does not need referenced files）**を選択します。

SOLIDWORKS PDM は参照ファイルをキャッシュしないため、親ファイルのほうが速く開きます。

複数の SOLIDWORKS ファイルを開く

SOLIDWORKS を実行しているかどうかに関係なく、キャッシュされていない複数のファイルを同時に開くことができます。

たとえば、SOLIDWORKS PDM ファイル エクスプローラの **ファイル (File) > 開く (Open)** コマンド、および参照先 (Contains) タブでは、SOLIDWORKS で複数のファイルを開くことができます。

パフォーマンスの向上 - SOLIDWORKS PDM

SOLIDWORKS PDM では、内容 (Contains) タブおよび使用先 (Where Used) タブにおける大規模なアセンブリや複雑な参照構造のロードのパフォーマンスが改善されています。

ファイルの移動、ドラッグ、参照、名前変更や、多くのファイルがあるフォルダに大量のファイルを追加するといった操作を、よりすばやく完了できます。仮想構成部品を含むアセンブリのチェックインも非常に高速にできます。

統合検索結果を処理する際の参照速度が向上しました。

不要なインターフェース更新を排除したため、ローカルにキャッシュされたファイルが多数存在するフォルダなどの参照速度が向上します。

応答性を高めた Web2 の再設計

SOLIDWORKS PDM Web2 の再設計により、Web サイトがさまざまなデバイス サイズやブラウザ ウィンドウ サイズに対応しました。ユーザー インターフェースのコントロールが向上し、さらにタッチ対応デバイスのサポートが強化されました。

機能の強化	説明
応答性の高いログイン画面	ログイン (Log In) 画面のサイズが、使用デバイスやブラウザ ウィンドウのサイズ変更に応じて変わります。
ファイル リストの応答性と改良	ファイル リストとファイル プロパティもデバイスに応じてサイズが変わります。ファイル リストは、ボルト ディレクトリのコンテンツをユーザーが参照できる、連続スクロール リストです。以前は、ファイル リストがページに分けられていたので、複数のページに移動する必要がありました。
ナビゲーション バー	ナビゲーション バーでは、次のことができます。 - トピックパスを使用して、ボルト内の別のフォルダに移動する。 - 上部バーの警告で ステータス変更 (Change State) などのファイル アクションの情報を参照する。

機能の強化	説明
アクション バー	チェックアウト (Check Out)、チェックアウトを元に戻す (Undo Check Out)、削除 (Delete)、ステータス変更 (Change State)、ダウンロード (Download) オプションをアクション バーから使用できます。
列の選択	ファイル リストに表示する列を選択または選択解除します。列を追加すると、自動的に幅が調整されます。
列のサイズ変更と並べ替え	使用先 (Where Used)、参照先 (Contains) タブなど、列ビューを含むページの列のサイズを変更します。
アップロードしてチェックイン	アップロードするファイルをドラッグ アンド ドロップしてチェックインします。
検索バー	現在のフォルダ (Current Folder)、現在のフォルダとサブフォルダ (Current & Subfolders)、すべてのフォルダ (All Folders) で検索場所を指定します。
ファイル プレビュー	ファイル プレビューがデバイスに合わせてサイズ変更されます。

ステータス変更時の参照図面ノードの選択

ファイルのステータスを変更するときに、ファイルに関連付けられている参照図面ノードを選択できます。

以前は、ステータス変更操作においてすべての参照ファイルを選択または選択解除できました。参照図面ノードを個別に指定することはできませんでした。

新しいオプション図面ノードとして定義されている参照をステータス変更時に選択する (**Select references that are defined as drawing nodes during change state**) は、デフォルトで選択解除されています。

このオプションにアクセスするには:

1. アドミニストレーション ツールで、ユーザーまたはグループを右クリックして、**設定 (Settings)** をクリックします。
2. ユーザーの設定 (Settings) ダイアログ ボックスの左側パネルで、**参照ダイアログ (Reference Dialog)** をクリックします。

親ファイルのステータスを変更すると、ソフトウェアによって次が実行されます。

オプション	説明
選択	参照図面ノードが選択され (ステータス変更 (Change State) 列のチェック ボックスが選択され)、ステータス変更操作に含まれます。

オプション

説明

選択解除（デフォルト） 参照図面ノードは選択されず、ステータス変更操作から除外されます。

ステータス変更操作で複数のファイルを選択している場合は、このオプションによって、それらのファイルの参照図面ノードのチェック ボックスが**ステータス変更（Change State）**列で選択または選択解除されます。

SOLIDWORKS Inspection のインテグレーション

SOLIDWORKS Inspection は SOLIDWORKS PDM と統合されています。このインテグレーションには、SOLIDWORKS に対する SOLIDWORKS Inspection アドインと、SOLIDWORKS Inspection スタンドアロン アプリケーションが含まれます。

SOLIDWORKS Inspection スタンドアロンは次をサポートします。

- 検査プロジェクト ファイルの変数マッピング

SOLIDWORKS PDM により、次のプロパティのブロック属性をマッピングできます：

- **SWIPrjProperty** は、Inspection のプロジェクト プロパティのマッピングを定義します。
- **SWICustomProperty** は、Inspection のユーザー定義プロパティのマッピングを定義します。

プロジェクト プロパティの **SWIPrjProperty** で利用可能な属性名を次に示します：

- 成型品名
- 部品番号（Part Number）
- 部品のリビジョン
- ドキュメント名
- ドキュメント番号
- ドキュメントのリビジョン
- ファイル参照ハンドリング

SOLIDWORKS PDM は、検査プロジェクト ファイル（.ixprj）と出力成果物（.xlsx、.pdf）の間に参照を作成します。SOLIDWORKS PDM の含める（Contains）タブでは、検査プロジェクト ファイルが親ファイルとして、出力成果物が子参照として表示されます。

SOLIDWORKS Inspection アドインで、図面ファイルと出力成果物の間、または検査プロジェクト ファイルと出力ファイルの間に参照が作成されます。

- SOLIDWORKS PDM リボン

SOLIDWORKS Inspection スタンドアロンには、SOLIDWORKS PDM のリボンが含まれています。CommandManager のSOLIDWORKS PDMタブを使用すれば、チェックアウト（Check-Out）、チェックイン（Check-In）、検索（Search）、バージョンの取得（Get Version）、最新バージョンの取得（Get Latest Version）といった SOLIDWORKS PDM の機

能にアクセスできます。このインテグレーションにより、検査プロジェクトとそれらに関連するファイルとレポートのストレージを管理および一元化するのに役立ちます。

デザイン ライブラリの SOLIDWORKS PDM サポート

デザイン ライブラリ (Design Library) タスク パネルには、SOLIDWORKS PDM ボルトに追加したファイルがリストされます。

ファイルのキャッシュは正しく機能し、ローカル キャッシュを手動で管理する必要はありません。

溶接カット リストのコンフィギュレーションのサポート

SOLIDWORKS PDM は、すべてのコンフィギュレーションの溶接カット リストプロパティを抽出および表示します。これまでは、アクティブなコンフィギュレーションのカット リスト プロパティだけを表示できました。

溶接カット リスト プロパティのコンフィギュレーションは以下で表示できます。

- カット リスト アイテムのデータ カード
- 溶接 BOM (Weldment BOMs)
- 溶接カット リスト (Weldment cut lists)

この機能は、SOLIDWORKS 2019 以降で作成または保存する部品でサポートされています。また、すべてのコンフィギュレーションに対して**再構築@保存マーク (Rebuild on Save Mark)**を追加する必要もあります。

変換タスクでの DXF/DWG ファイル形式のサポート ★

SOLIDWORKS PDM Professional の変換タスクは、板金フラット パターンを DXF/DWG ファイル形式に変換します。

SOLIDWORKS 2018 以降で、この変換がサポートされています。

高度な変換オプション（DWG 形式/DXF 形式）

詳細変換オプション（Advanced Conversion Options）ダイアログ ボックスを使用すると、板金パターンを DXF または DWG ファイル フォーマットにエクスポートするときに、オプションを設定できます。

詳細変換オプション（Advanced Conversion Options）ダイアログ ボックスを表示するには:

- 変換タスクの設定時に、変換 - プロパティ（Convert - Properties）ダイアログ ボックスの変換設定（Conversions Settings）ページにある**ファイル フォーマットを出力（Output file format）**に対して**DWG フォーマット（DWG Format）**または**DXF フォーマット（DXF Format）**を選択し、**変換オプション（Conversion Options）**をクリックします。
- 変換タスクの開始時に、変換（Convert）ダイアログ ボックスの**ファイル フォーマットを出力（Output file format）**に対して**DWG フォーマット（DWG Format）**または**DXF フォーマット（DXF Format）**を選択し、**変換オプション（Conversion Options）**をクリックします。

DXF/DWG フォーマット ファイルを変換するときには、次のオプションが適用されます。

ジオメトリ	フラット パターン ジオメトリをエクスポートします。
隠れエッジ	隠れエッジを含めます（ジオメトリ（Geometry）を選択した場合のみ使用可能）。
ライブラリ フィーチャー	ライブラリ フィーチャーをエクスポートします（ジオメトリ（Geometry）を選択した場合のみ使用可能）。
フォーム ツール	フォーム ツールを含めます。
ベンドライン	ベンドラインをエクスポートします。
スケッチ	スケッチを含めます。
境界ボックス	境界ボックスをエクスポートします。

マルチボディ エクスポート オプション

単一ファイル	すべてのフラット パターンを 1 つの DXF/DWG フォーマット ファイルに変換します。
別ファイル	各フラット パターンを個別の DXF/DWG フォーマット ファイルに変換します。

フラット パターンの名前は、プライマリ出力パスのサフィックスです。

マップ ファイルの有効化	マップ ファイルを有効化し、 ボルト ルート フォルダ パス の下のマップ ファイルの場所を選択します。タスクの実行中に、タスク ホスト上のファイルにアクセスできる必要があります。
---------------------	---

全リセット	オプションをデフォルトにリセットします。
--------------	----------------------

eDrawings 機能のサポート

SOLIDWORKS PDM では、次の eDrawings® 機能がサポートされています。

- 周辺隠面
- コンフィギュレーションとシートの選択

アンビエント オクルージョン

SOLIDWORKS PDM では、eDrawings でサポートされている 3D ファイル形式のアンビエント オクルージョンがサポートされます。

プレビュー (Preview) タブに eDrawings ツールバーを表示するには、SOLIDWORKS PDM メニューバーで**表示 (Display)**をクリックし、**オプション (Options) > SOLIDWORKS プレビューでフル UI を表示 (Show full UI in SOLIDWORKS preview)**を選択します。🔍 をクリックして、ファイルに適用されたアンビエント オクルージョンを表示します。

eDrawings でファイルのアンビエント オクルージョンを有効にするには、**ツール (Tools) > オプション (Options)** をクリックして、**最高速 (Fastest speed)**を選択します。

コンフィギュレーションとシートの選択

SOLIDWORKS PDM でプレビュー (Preview) タブでコンフィギュレーションとシートを選択することができます。

プレビュー (Preview) タブの eDrawings ツールバーで次を選択できます。

- .EPRT、.EASM、.SLDPRT、.SLDASMファイルの**コンフィギュレーション (Configurations)** リストのコンフィギュレーション。
- .EDRW、.SLDDRW、.DXF、.DWG ファイルのリストのシート。

ファイル構造のアップロードとチェックイン、参照付きのダウンロード

SOLIDWORKS PDM Web2 クライアントは、参照付きのファイルおよびフォルダをすばやく簡単にアップロードおよびダウンロードする方法を提供します。

次を行うことができます：

- フォルダ、およびファイルやフォルダを含むフォルダの内容を特定の場所にアップロードします。
- 参照付きのファイルおよびフォルダをダウンロードする。

これまでは、参照付きのファイルをアップロードまたはダウンロードするには、それぞれのファイルで個別に操作を行う必要がありました。

ファイル構造をチェックイン (Check In File Structure) 機能でサポートされているブラウザは、Google® Chrome、Mozilla® Firefox、Microsoft® Edge です。

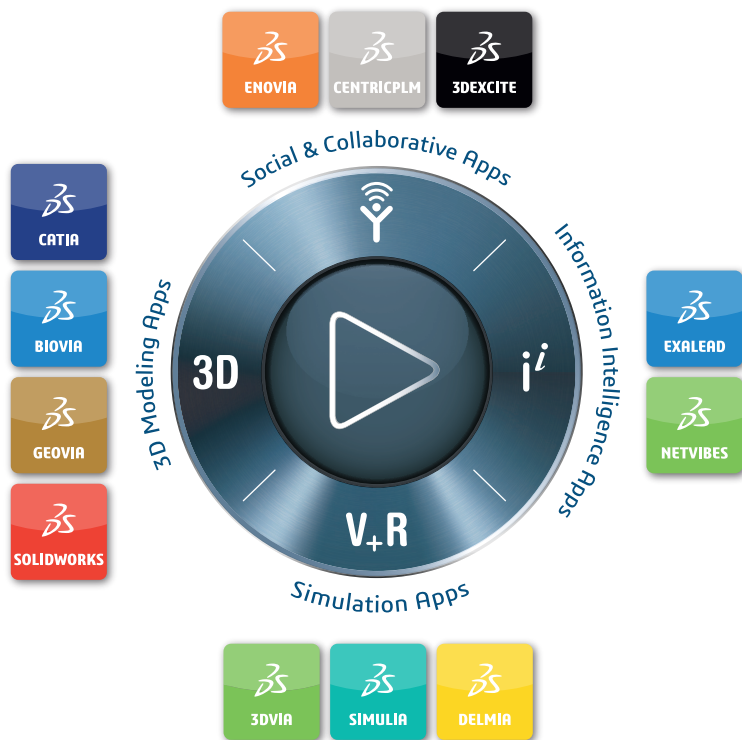
ユーザーのコメント ☆

SOLIDWORKS PDM では、チェックイン時またはステータス変更の操作時に入力する必須コメントをより細かく制御できます。

この制御の改善により、管理者はワークフロー内の特定のステータスとトランジションに関するチェックインまたはステータス変更に関するコメントをユーザーが追加することを要求できます。これらの必須コメントにより、信頼性の高いドキュメント履歴が作成されます。

拡張された権限は次のとおりです。ワークフローの各ステータスに対して**バージョン コメントを入力してください (Must enter version comments)**、および各トランジションに対して**ステータス変更のコメントを入力しなくてはなりません (Must enter state change comments)**。

シナリオ	コメントを入力しなくてはなりません	ステータス変更のコメントを入力しなくてはなりません
管理者権限が選択されていて、ステータスまたはトランジションが選択または選択解除されています。	次の操作中にコメントを入力します。 • 初回チェックイン。 • ツリーをコピー（Copy Tree）とブランチ（Branch）の操作によるチェックイン。 • 参照ツリー内の少なくとも 1 つのファイルに対して新規ファイルとしてマージ（Merge as new file）オプションを使用したマージ。 • 変数の更新（Update Variable）が選択された変数の設定アクション。	トランジションに関係なく、ファイルのステータスを変更する場合はコメントを入力します。
管理者権限が選択解除されていて、ステータスまたはトランジションが選択されています。	特定のステータスにあるファイルをチェックインする場合は、コメントを入力します。	特定のトランジションを使用してファイルのステータスを変更する場合は、コメントを入力します。



Our **3DEXPERIENCE®** platform powers our brand applications, serving 11 industries, and provides a rich portfolio of industry solution experiences.

Dassault Systèmes, the **3DEXPERIENCE®** Company, provides business and people with virtual universes to imagine sustainable innovations. Its world-leading solutions transform the way products are designed, produced, and supported. Dassault Systèmes' collaborative solutions foster social innovation, expanding possibilities for the virtual world to improve the real world. The group brings value to over 250,000 customers of all sizes in all industries in more than 140 countries. For more information, visit www.3ds.com.

Europe/Middle East/Africa

Dassault Systèmes
10, rue Marcel Dassault
CS 40501
78946 Vélizy-Villacoublay Cedex
France

Asia-Pacific

Dassault Systèmes K.K.
ThinkPark Tower
2-1-1 Osaki, Shinagawa-ku,
Tokyo 141-6020
Japan

Americas

Dassault Systèmes
175 Wyman Street
Waltham, Massachusetts
02451-1223
USA

DASSAULT SYSTEMES | The **3DEXPERIENCE®** Company